



飯能ロータリークラブ会報



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

“人類に奉仕するロータリー”

RI会長 ジョン・ジャーム

2570地区ガバナー 前嶋修身

第3グループ
ガバナー補佐 野本俊光

「知恵と元気を」

第2710例会 2016. 7. 27

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

天候 曇 (NO. 53-04)

会長 小川晃男 幹事 矢島高明

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 吉田(健)君、矢島(巖)君

- ・点鐘 小川会長
- ・ソング 手に手つないで
- ・卓話 藤原秋夫会員

【会長報告】

聖望学園サッカー部がインターハイで今、広島に行っています。矢島幹事は後援会長として試合を見ており、本日は欠席です。

安藤泰雄パスト会長に地区R米山記念奨学推進委員をお願いします。前嶋Gからの委嘱状を代読します(拍手)。

〔安藤委員：このところ欠席続きなのですが体調が戻り次第頑張らせてやらせて頂きたい。ご指導の程よろしくお願い致します。〕

PETSで「会長は会長の時間にRCの事を必ず喋りなさい」「最低3回に2回位」とのご指示がありました。何も知らなかった私が、勉強して発表しているという事でございます。

RIには2つの標語があります。第1標語「超我の奉仕」(Service Above Self)、第2標語「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」(One Profits Most Who Serves Best)。

第2標語を言い出したのはアーサー・フレデリック・シェルドン。彼がシカゴRCに入会したのは1908年。RCが始まって3年後位。1910年に開催された初の「全米ロータリー連合会」で、彼は演説します。その中の He profits most who serves his fellows best. (自分の仲間に奉仕する者が最も報われる)という1行が翌年標語として認められた。同じ

年に認定された第1標語も、最初は Service, Not Self (無私の奉仕)だった。その後ずいぶん経って1950年に2つの標語は共にRIの公式標語に正式に認められたそうです。シェルドン氏は20年代後半からRCと疎遠になり、1930年には辞めてしまう。英国人である彼は profit が下品で気に入らなかった。「利益を得る」はよろしくないようで、日本語では「報われる」と訳していますが、日本でも問題になった時期があったそうです。

2001年、女性も入っているのに He Profits では良くないとの意見が出て、One Profits となりました。

【幹事報告】

土屋(崇)前幹事

- ・8/3第3回理事会
- ・8月ロータリーレート1ドル=102円

【委員会報告】

◎社会奉仕委員会

大野(康)君

10/22(土)13時~熊谷市内のホテルにてブライダルパーティー。お子様、お知合いで参加ご希望の方がおられましたら事務局または土屋(良)委員長まで。

◎米山記念奨学委員会

小谷野君

本日、米山に寄付させて頂きました(拍手)。

【出席報告】MUなし 中山出席向上委員長

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
54名	6名	44名	81.48%	85.19%

【SAA報告】◎ニコニコBOX なし
本日計0円、累計額47,000円。
◎3日例会当番は吉田(武)、山川会員です。

【卓 話】

講師紹介



矢島(巖)前国際奉仕委員
S25年、秋田県生まれ。
S41年、航空自衛隊入隊。
S45年、関東サッシ(飯能
市阿須)入社。S63年、総
伸工業(株)創業、現在、日高
に工場。新井年度の入会。
昨年度、中里(昌)委員長
の下、私も委員として70
過ぎて初めて「パワーポ
イント」を練習して見て頂いたのですが、それ以上に、細田(吉)会員のご息子の撮影されたものが素晴らしく、今日は急きよ、藤原委員長の説明でお願いしたいと思えます。

ムーミンのテーマパークを視察して

飯能RC 国際奉仕委員長 藤原秋夫会員

藤原会員：細田(吉)会員の息子さんが4枚のCDの中から25分間にまとめたビデオを見ながら少しお話したいと思います。

6/15成田発11時。11時間掛かりました。時差は6時間。夕方3時半に着いてホテルへ。翌日、ヘルシンキ市内を観光。フィンランドの作曲家を称えて造られたシベリウス公園のモニュメントにはステンレスのパイプが沢山使われていました。テンペリアウキオ教会は岩石をくり抜いて造られており、壁は岩、そこに屋根を掛けたもの。音響が良く、いろいろなコンサートが行われています。8日間のうち5日間は雨。ウスペンスキー寺院での結婚式。世界遺産スオメンリンナはスウェーデン、ロシアに統治され、フィンランドが独立する時にも活躍した歴史的価値のある要塞。有名なイッタラのガラス工場を見学してからタンペレ大聖堂へ。何か所か教会を見ましたが行く先々でパイプオルガンの演奏を聴く事が出来ました。タンペレにはムーミン谷博物館があるのですが撮影禁止。今は地下室で広くないのですが、来春、大規模な施設が出来るそうです。※1812年、トゥルクからヘルシンキに首都移転。1917年、ロシアから独立。

矢島(巖)会員：橋を渡った先の小さな島全体がムーミンワールド。入場券売場。消費税24%。夏は3か月弱。ここへ来て野外でコーヒーを飲んだり食事をしたりする雰囲気でしたが、まだ寒くてセーターを着て過ごす状況でした。ディズニールランド等と違い、林間の沐浴を楽しむような場所。ムーミン屋敷では着ぐるみのムーミンパパやママと子ども達が遊んでいました。子どもや孫を連れてきている方が多い。11名全員で記念撮影。この日だけは天気



が良かった。飯能では日光浴というより、方法を考えないと夏は逆に暑いのかなと感じました。トーベ・ヤンソンの父は彫刻家、母はグラフィック・デザイナー。ムーミン(コミック)が英国の新聞に載るようになって急に売れて来たような事を言われていました。劇場では劇を上演。どちらかと言うと、普段自然に親しめない方に来て頂くのがいいような公園かなと思っております。

藤原会員：10年で2000万人の来場者。7～9月の2か月半だけの開園。向こうの人は家族で休暇を取るのので遠くから来るそうです。日本人も多く、日本語のパンフレットや、劇場には日本語の字幕がありました。日本のテーマパークにも県外や東南アジアの方から来られるのではないかという期待感があります。

一番古い城を見学して、その夜、船「プリンセス号」でスウェーデンへ。ストックホルム市庁舎「黄金の間」はノーベル賞受賞者の晩餐会が行われる所。スウェーデン王宮を見学し、飛行機でベルゲン(ノルウェー)へ。ケーブルカーで45度の傾斜を登り5分程で山の頂上へ。街が一望出来て、雨と風が無ければもっと綺麗だったろうと思いました。港の市場。世界遺産ブリッゲンの街並み。裏側が魚の保管場所。だいぶ古くて補強工事を盛んにやっていました。どの国へ行っても岩石ばかり。ノーベルも硬い岩を取るためにダイナマイトを開発したという話です。

フェリーでフィヨルド(入り江)へ。左右の岸壁の山は1000m級、底も深い所で1000m位。いろいろな所から滝が流れ、綺麗な所でした。一寸でも平らな所があって牧草が生えるとそこに人が住むという風で、点々と2、3軒があり、よくこういう所で生活出来るなと思いました。滝の上で音楽に合わせて女性がダンスを踊ってくれました。山岳鉄道に乗ってオスロまで行くのですが、途中、雪が残っていて寒かったです。オスロの街にはネオンも看板も無く、市の職員による掃除も行き届いており、建物の高さも制限があって揃っていて綺麗でした。オスロはバブルで今、建設ラッシュ。ヘルシンキ経由で成田に6/23朝8時、無事に帰って来ました。